

電気料金の節減は？



野口 昌作 議員

町長

今年度中に検討する



電気料金の節減を

【野口】現在、町が管理する施設では、年間約1億円の電気料金が支払われている。

電気事業法の改正などにより、電力業界も自由競争の時代に入り、規制緩和が段階的に行われている。新規参入者はこれをチャンスとして売り込んでいる。電気事業者の競争によつて料金の節減をはかつてはどうか。

【町長】電力の自由化が進んでおり、電気事業者が提案書を提出してきている。

町にとつてのメリット、デメリット、さらに周辺の状況などを十分に調査研究し、検討して対応する。

【野口】いつ頃を目途に検討するのか。

【町長】今年度中に検討する。

イノシシの

処理加工施設は？

町長

関係者の取り組みで

【野口】大山の恵みである山、川の生態系が変化している。山は松くい虫、近年はナラ枯れ、イノシシが増え、農作物を荒らす。川はウグイやハエがいなくなった。これら生態系の変化を捉えたまちづくりを考えるべきだ。

イノシシの捕獲の強化と、処理加工所の建設が必要と思うが取り組みは。

【町長】イノシシの捕獲は猟友会に委託して成果をあげている。今年度から国の事業を活用し、檻おろの設置をしており、捕獲従事者の確保にも努めている。

処理加工施設は、町

での設置は考えていないが、狩猟者など関係者の主体的な取り組みは、県の助成事業などを検討する。

【野口】地方創生の取り組みとあわせ、コイヤマスの放流、アオサギ・カワウ対策を含め川の蘇生をしては。

【町長】漁業権、保護鳥などの問題が出る可能性があるが、慎重にすべきである。



イノシシ肉で活性化を